

# 今月の表紙

未知の生物…ではなく、すべて葉山の海にいる生き物！



【イタバヤの一種】

厚さ4㎝程度。日本各地朝鮮半島の潮間帯に生息。石の裏にべったり付着し、とても生物のようには見えません。しかし、食用のホヤの仲間です。ホヤは単体ですが、本種は一つひとつの個虫が集まって群体になっています。



【シロウミウシ】

体長3㎝程度。本州以南、台湾、香港の潮間帯から水深5mに生息。アオウミウシとともに葉山で見られる代表的なウミウシ。正面の二本の角のようなのは触角、体の後部にある房状の突起はエラです。ウミウシの仲間は芝崎海岸でよく見られます。



【ヒザラガイ】

体長7㎝程度。北海道南部以南の潮間帯に生息。ヒザラガイ類は貝類としては原始的で、8枚の殻を持つことが特徴。潮が引いた時、岩礁のいたる所に付着した姿を目にします。一見動かないようですが、潮が満ちると移動します。



【クロフジツボ】

直径4㎝程度。本州から沖縄の潮間帯に生息。一見貝のようだが、甲殻類なのでエビやカニに似た幼生が岩礁に定着して殻を形成する。殻は厚く硬いので手足をつくどけがをしやすい。ひづめ状の切れ目は殻の成長に必要な部分。



【イトマキヒトデ】

腕長(中心から腕の先まで)4㎝程度。北海道～九州の潮間帯から水深10mに生息。毒々しい色をしているが特に毒性はない。昔使われていた糸巻きに似ているのでこの名がついた。

葉山の海岸線は4kmほどですが、岩礁、転石地帯、砂浜、河口など、様々な環境が組み込まれています。そこへ黒潮系暖流の影響が加わり、多様な生物相を生み出しています。とりわけ、芝崎海岸の磯は、海洋生物が豊かで、葉山町がその海域を天然記念物として指定しています。

(写真提供：しおさい博物館)

## 近代美術館 葉山 からのお知らせ

### マティスとボナール 地中海の光の中へ

会期 5月31日(土)～7月27日(日)

休館日 月曜日(7月21日は開館)、7月22日(火)

観覧料 一般1,200円、20歳未満・学生1,050円、65歳以上600円、高校生以下、障害者の方は無料です。

20世紀の巨匠マティス(1869-1954)とボナール(1867-1947)。南仏の光の中で輝く色彩と造形を追求したふたりの画家を、その交友に照明をあてて紹介します。

■ギャラリートーク 7月12日(土)、26日(土) いずれも14時から

次回展覧会 生誕100年記念 秋野不矩展 8月9日(土)～10月5日(日)

問合せ 近代美術館 葉山 一色2208-1 ☎875-2800 FAX875-2968



ピエール・ボナール《花咲くアーモンドの木》1946-47  
ボンビドゥー・センター、パリ国立近代美術館

	世帯	男	女	計
木古庭	654	794	849	1,643
上山口	854	1,013	1,098	2,111
下山口	1,136	1,350	1,423	2,773
一色	3,740	4,331	4,767	9,098
堀内	3,644	4,136	4,661	8,797
長柄	3,562	4,130	4,598	8,728
合計	13,590	15,754	17,396	33,150

世帯と人口 (平成20年6月1日現在)  
前月比 世帯20世帯増 人口26人増(住民基本台帳から)

### 5月の気温

最高気温 27.1度(5月27日)  
最低気温 8.6度(5月13日)  
平均気温 17.4度  
平均湿度 79.2%  
月雨量 347.0mm  
(消防気象月報から)

瞬間最大風速 南 29.7m/s(5月20日)  
(港湾管理事務所)

## 広報はやま7月号

平成20年(2008年)7月1日発行

編集発行：葉山町総務部企画調整課  
〒240-0192  
神奈川県三浦郡葉山町堀内2135  
☎046-876-1111(代)

### ホームページ

<http://www.town.hayama.lg.jp/>

### トーク・イン・ハヤマ

町からののお知らせや話題などをお届けする  
行政情報番組 湘南ビーチFM(78.9MHz)  
毎週月・水・金曜日 10時15分～10時30分(15分間)